

「燕市羽ばたけつばくろ応援事業」 成果報告会

糸半プロジェクト!



小池中学校 生徒会



令和2年度 企画活動テーマ



～いざというときに命を守ることができるために
今、私たちができること～

今年度は、これまでの地域貢献活動に加えて、
次の3つの視点で活動しました

私たちの地域貢献活動

鉢植えやクリスマスリースの
プレゼント、地域クリーン
作戦、藤の実もぎ作業など



① 災害から身を守る



② 新型コロナウイルス感染症
から身を守る



③ 犯罪から身を守る

① 災害から身を守る

災害場面を想定した道徳科 3年生



「防災クロスロード」

災害時の様々な場面を想定した二者択一の選択から、自分はどう行動するかを考え、

YESか**NO**で選択



話し合って納得解を導き出しました



災害場面を想定した道徳科 3年生

「防災クロスロード」

【あなたは、被災した中学生】←あなたの立場は!!

地震で自宅は半壊状態。家族そろって避難所へ。
非常用持ち出し袋には、水も食料も3日分ある。
一方避難所には水も食料も持たない家族が多数
いる。あなたはその前で非常用持ち出し袋をあける？



YES

•

NO

災害場面を想定した道徳科 3年生

「防災クロスロード」

【あなたは市の職員】 ←あなたの立場は!!

大地震から数時間。避難所には500人が避難している。コンビニのおにぎりが100個と菓子パンが100個、2ℓのペットボトルの水が50本届いた。次はいつ届くかわからない。届いたおにぎりとパン、水を配る？



YES

•

NO

災害場面を想定した道徳科 3年生



YES or NO
カードで
意思表示



振り返り 自分の考えをまとめる



根拠を
付箋に記入
YESは青色
NOは赤色
その後
意見交流



振り返りシートより 生徒の感想

- ・ 災害時、より多くの人々が助かって幸せな気持ちになることはとても難しいことが分かりました。また、いろんな人と協力して考えると災害時でもたくさんアイデアが出ると分かりました。

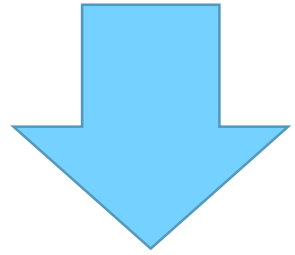
振り返りシートより 生徒の感想

- 人それぞれに考え方や思いが違う。災害時はみんなの意見をくみながら行動したい。
- 対応のメリットとデメリットを考えつつ、最大限困っている人がいい方向になるようにしたい。

災害場面を想定した道徳科 3年生

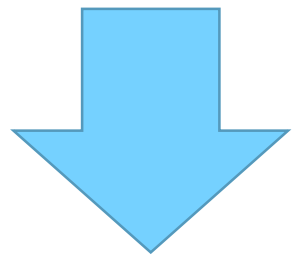


「さすけなぶる」 東日本大震災による避難所(ビッグパレットふくしま)で実際に起きた問題について考えました



正解はない ルールは、個の命と人権を守る
こと 問題への対処を考えました

意思決定→議論→納得解や新たな考えを導きだす



実際に起きた当時の状況を知り、行動に潜む背
景を考える必要性に気付き 共感できました

想定外の事態にも、経験を生かして、被災者の幸せを最
優先にした柔軟な対応の視点と判断力を身に付けました

「さすけなぶる」

事例「新聞屋と呼ばれた人たち」

避難所には、被災者の人数以上に新聞が届けられていました。しかし、毎日その新聞が、全ての希望する人に行き渡らなくて困っていました。

調べてみると、何人かの人たちが新聞を数十部持っていってしまうことがわかりました。そのうちに新聞を巡って、けが人が出るなどトラブルが多数発生しました。

【問い】あなたが避難所の責任者だったら…



「さすけなぶる」

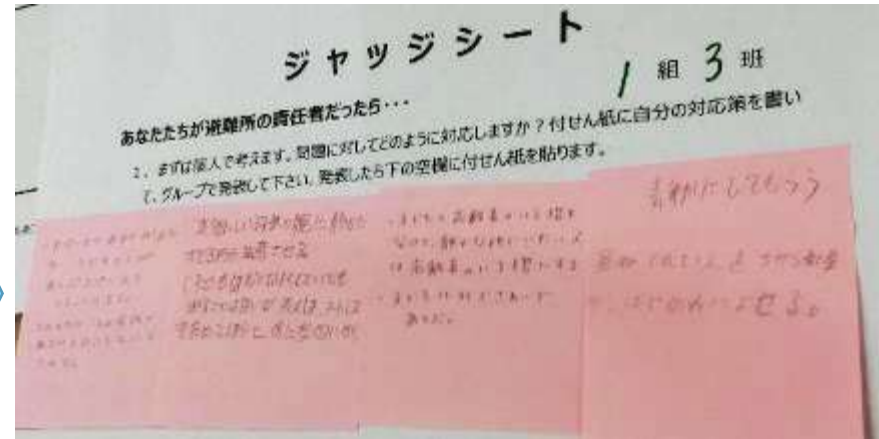
災害場面を想定した道徳科 3年生



問題提示



個人の考えを付箋に書いて発表



ジャッジシートに付箋を貼り、
班の意見をまとめる

7/11 (水)	教材名 防災クロスロード 工外07-7	自己評価
	避難する際は、たくさんの人と生活しているため、 <u>自分ばかり得をするのではなく、どうしたらみんなが安全に避難できるか</u> <u>を、中学生として考えることとしていきたいです。</u>	1 2 3 A A A
7/22 (水)	教材名 さすけなぶる 工外07-7	自己評価
	小学校、地域の防災訓練を行ってきまして、 訓練を真正の意味、理解していません。今回の 授業はその意味を理解できたとはいえず、 たくさんの人に教えてもらいました。	1 2 3 A A A

振り返り



発表して共有



議論し、納得解や
新たな考えを導き出す



振り返りシートより 生徒の感想

- ・新聞の届け方の例で、何十部も持っていった人は、実は避難所内ではなく、避難所外の新聞が届かない人たちに配っていたと教えてもらった。物事の本質をしっかりと見ないと、善人を悪人にしてしまう恐れがあるので、気を付けなければいけないと思った。



①災害から身を守る

10/3(土)地域防災訓練



感染禍のために例年とは違い密を避けて一時避難所までの避難訓練となりました。今年から新たな試みとして、安否確認を役員の方と一緒に中学生が行いました。

①災害から身を守る

10/3(土)防災学習

私たちは、3年間を通して、災害時に必要とされる様々な力を身に付けるために防災学習に取り組んでいます。



1年生 災害弱者の避難支援

2年生 救急法講習

10/3(土)防災学習



3年生「避難所運営ゲームHUG」
災害発生時の避難所運営を
実践的に考え、話し合いました
避難所での課題等について学
び、避難所生活で中学生にで
きることを考えました

避難者カードは、状況や
人数を確認し、学校の図
面上に場所を割り振る

イベントカードは、対応を考
えて対応
例)掲示板や炊き出し場を設置

①災害から身を守る

防災マップ作成に向けて



町内ごとに情報収集・撮影
作成に向けて

校内で情報共有

燕市役所防災主幹の十河浩 様と
地域コーディネーターの清水芳秀 様
にアドバイスをもらいました。



3月、自治会長さんの最終確認を
受けてから学校のHPにアップします。

まちづくり協議会の皆さんの点検



②新型コロナウイルス感染症から身を守る

糸半朝会



7月21日(火) 講師 八島 拓也 様 やしま接骨院 院長
小池中平成18年度卒

演題「カラダをほぐして免疫力UP

～新型コロナウイルスに負けないカラダ作りを～」



感染禍によるストレスの解消法や心と体の健康法などについて、
私たちの先輩でもある八島さんに講演していただきました。

③犯罪から身を守る

糸半朝会



10月20日(火)

講師 新潟県燕警察署小池駐在所
新潟県巡査 田口 康浩 様

演題「本当の『護身』とは」



身を守るための防犯対策と逃げるための護身術についてお話ししていただきました。本当の護身とは、自ら危険を察知し、そのような場所に近づかないこと。また、戦うためではなく逃げるための護身術を丁寧に実技も交えて教えていただきました。



地域貢献活動紹介



鉢植え
プレゼント



地域クリーン作戦



クリスマスリース
プレゼント



藤の実もぎ作業

成果



今年度は、地域の皆さんと直接関わる場面は限定されましたが、災害から身を守るという視点で考えを深めることができました。特に3年生は、道徳で、災害時には目に見える問題や出来事より、そこにいる人の思いや背景に想像力を働かせて、何が問題の本質かを考えることの大切さに気付くことができました。中学生として、地域の一員として、学習の様子や考えたことを糸半新聞と冊子で地域に情報発信することができました。

今後の取組



小池地区は、地域で防災訓練に取り組む防災意識の高い地域です。私たちは、今年度新たに防災マップの作成に取り組みました。まちづくり協議会の役員の方と自治会長さんから確認をしていただいてから学校ホームページに掲載します。今後は、定期的に見直してWeb上の防災マップを更新していく予定です。これからも地域の皆さんと防災を共通のテーマとして取り組んでいきます。

糸半プロジェクト

令和2年度 企画活動テーマ

～いざというときに命を守ることができるために
今、私たちができること～

小池中学校 生徒会



御清聴ありがとうございました。